

りそなホールディングス トップメッセージ



「リテールNo.1」の実現に向けて

株式会社りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長

東 和浩

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期の日本経済は、米中貿易摩擦懸念等、世界経済の先行きへの不透明感があつたものの、設備投資の動きは強く、緩やかな景気回復基調が継続しました。一方、金融機関を取り巻く環境は長引く低金利環境の影響もあり、引き続き厳しいものでした。

こうしたなか、りそなホールディングスの親会社株主に帰属する中間純利益は、関西みらいフィナンシャルグループの統合に伴う一時利益等もあり、通期目標比61%の進捗となる1,221億円となりました。フィー収益の増加が預貸金利益の減少を上回り、業務粗利益が反転増益となるなか、厳格な経費運営も継続、中期経営計画で掲げた収益・コスト構造改革は着実に進展しました。

また、不良債権比率は1.16%、自己資本比率は10.17%と、引き続き健全な財務体質を維持しています。

中間配当は、期初予想通り、普通株式1株当たり0.5円の増配となる10.5円とさせていただきます。これは、普通株主さまへの年間配当金を1株当たり1円増配し、21円とする期初の方針に沿うものです。

2018年度は中期経営計画の2年目として、リテールNo.1の実現に向けた取り組みを加速させております。2018年4月に当社連結子会社の関西みらいフィナンシャルグループが本格スタート、グループとして国内最大規模の店舗ネットワークを構築しました。2018年11月には、お客さまの“決済”をトータルにサポートする「りそなキャッシュ

レス・プラットフォーム」のサービスを開始したほか、優れたデザインとシンプルな操作性が特長のスマートフォン向け「りそなグループアプリ」は、2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。幅広いお客さまに、いつでもどこでも、最適なソリューションをご提供する「オムニ・チャネル戦略」は着実に進展しています。引き続き、お客さまになりきって考える「オムニ・アドバイザー」の育成に努め、「お客さまの喜び」の実現に努めてまいります。

また、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、「2030年SDGs達成に向けたコミットメント(Resona Sustainability Challenge 2030)」を2018年11月に公表しました。SDGs達成に向け、環境・社会課題をテーマとしたお客さまとの建設的な対話の推進をはじめとする6つのコミットメントに取り組み、活力あふれる地域社会の実現に貢献してまいります。

引き続き、りそなグループは、「お客さまの喜びがりそなの喜び」という基本姿勢を貫き、地域のお客さまにもっとも支持され、ともに未来へ歩み続ける「リテールNo.1」の金融サービスグループを目指して、企業価値の最大化に努めてまいります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年1月